

平成29年度 第7回糸島市教育委員会会議録

- (日 時) 平成29年10月27日(金) 13時30分から14時00分まで
- (場 所) 糸島市役所新館4階 2号会議室
- (出席委員) 徳田 敬委員長、西 憲一郎委員(職務代理者)、松尾 実恵委員
宮崎 眞希子委員、家宇治 正幸教育長
- (事務局出席者) 泊 早苗教育部長、平野 真也教育総務課長、石硯 昭雄学校教育
課長、波多江 修士生涯学習課長、角 浩行文化課長、岡部 裕俊
文化課企画監、武田 巨史学校教育課指導係長兼指導主事、原尾
宏志学校教育課指導主事、高田 和宏教育総務課課長補佐兼総務係
長
- (傍聴人) なし

1 会議事項

- (1) 会議録署名委員の指名
- (2) 会議録の承認
- (3) 教育長あいさつ
- ※ 議事 なし
- (4) 協議事項
卒業式、入学式等の日程について
- (5) 報告事項
- ① 糸島市議会9月定例会について
- (6) その他
- ① 各課業務の主な取組状況と課題について
- ② 教育委員から
- ③ その他

2 開 会

委員会開会を宣告 13時30分

(1) 会議録署名委員の指名

(徳田委員長)

会議録署名委員については、西 憲一郎委員を指名する。

(2) 会議録の承認

(徳田委員長)

平成29年度第6回教育委員会会議録の承認を求める。

質問、意見はないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

本会議録の承認について、異議のない委員の挙手を求める。

(委員全員)

挙手。

(徳田委員長)

異議なしと認め、本会議録については原案どおりで承認された。

(3) 教育長あいさつ

(徳田委員長)

教育長あいさつをお願いします。

(家宇治教育長)

- ・ 教員の働き方改革の問題について、中学校長会が独自調査したところ、最も多い教員で200時間を超えている。課題であり解消に向けて取り組んでいかなければならない。150時間を超えている職員も10%程度いる。こうした教員の一生懸命に取り組んでいただいていることで児童生徒の学力保障や教育活動の成果として表れているところではあるが、教職員自身の生活もあることから、今後、教職員の働き方について校長会を中心として改善に向けた検討を指示しているところである。
- ・ 計画されている多目的体育館が災害時の避難所としての機能も併せ持った施設として位置づけられているが、自然災害時に教育施設の地域の避難所としての機能充実に図っていかなければならない。
- ・ 道徳・外国語活動等、新教育課程への対応について時間数の確保など来年から移行期間となることから課題となっている。教務主任・指導主事を中心として来年度に向け検討しているところである。

(4) 協議事項

(徳田委員長)

会議次第に沿って(4)の協議事項へ移る。卒業式及び入学式等の日程について事務局より、説明を求める。

(平野教育総務課長)

配布資料に基づき説明。

	期 日【平成30年】		備 考
	小学校	中学校	
卒業式	3月 <u>16日(金)</u>	3月 <u>9日(金)</u>	※公立高校一般入試 ・試験日 3/7・3/8 ・合格発表 <u>3/15(木)</u>
入学式	4月 <u>11日(水)</u>	4月 <u>10日(火)</u>	
始業式	4月 <u>6日(金)</u>		

(徳田委員長)

ただ今、説明がありましたが委員の皆さん、意見・質問はないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

それでは、委員会としては、この日程で確認する。

続いて、(5) 報告事項に移る。

(5) 報告事項

(徳田委員長)

それでは、糸島市議会9月定例会について、報告を求める。

(泊 教育部長)

配布資料に基づき説明。

会期は9月1日から28日までの28日間

平成28年度の決算の認定。

教育委員会に関する一般質問として3名 笹栗市議、高橋市議、波多江市議
笹栗市議からは安全・安心ネットワーク青少年ネット部会の設置について及び平原歴史公園の利活用について

高橋市議からは教育予算の拡充について

特に、波多江市議からは教職員の多忙化解消の取り組みについて 現在、中学校長会に対し、教職員の働き方改革の観点から実態の把握と併せ、改善に向けた調査・検討をお願いしている。結論には至っていないが、職種がら勤務実態の把握は難しいが、一般的にマスコミで騒がれている過労死の数値を超えるような深刻な状態の教職員も存在している。小学校では中学校より取

り組みに後れを取っている。少なくとも学校で勤務している時間帯はきちんと把握したい。部活指導のあり方についても併せて現場において調査・検討をお願いしている。

(徳田委員長)

それでは、質問意見はないか。

200 時間を超えている教職員がいることの報告をうけたが、どのくらいの割合か。

(家宇治教育長)

1 名である。150 時間を超えている教職員は 10% 超程度になる。部活顧問をしていることも要因としてある。総合的に見直さなければならぬと感じている。ただ、管理職のみならず教職員の意識改革が不可欠である。調査・検討を踏まえ、部活指導については週 1 回ノ一部活デーを設定しているが土日の部活指導をどうするかが課題である。今、対策委員会の中で検討いただいている。委員会には校長・教頭・中体連・文化連盟から構成しており、結論が出次第、来年の 4 月から適正な形で市内統一した運用を行っていきたい。

(西 委員)

超過勤務の命令の規定はどうなっているのか。校長が行っているのか自主的な判断によるものか。

(家宇治教育長)

一人ひとり校長が命令するようなことは行われていない。

(西 委員)

時間外手当はどうなっているのか。

(石硯学校教育課長)

部活動に関しては休日 4 時間以上については特別勤務手当が支給されている。平日の時間外手当はない。

(徳田委員長)

ほかにないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

ないようであり、会議を進行する。(6)その他に移る。

(6) その他

(徳田委員長)

各課の取組状況及び課題について 報告を求める。

配布資料に基づき各課長より日程報告

(徳田委員長)

ただいまの報告について質問・意見はないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

教育委員の皆さんから何かないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

その他、報告事項はないか。

(なし。)

(徳田委員長)

これでその他を終わる。

3 次回会議

(徳田委員長)

次回は11月24日としているが、よろしいか。

(委員全員)

異議なし。

次回 平成28年11月24日(火) 13時30分から決定

4 閉会 委員会閉会を宣言 14時00分